

平成30年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 85

千葉県立佐原高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

次のア、イをともに満たす生徒

ア 学習成績が優秀である

イ 部活動を含めた学校生活全般に意欲的に取り組む

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 作文	字数：600字以内 検査時間：50分

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書 アの数値に、ウについて加点（上限5点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	第3学年の欠席日数が20日を超える場合、3年間の欠席日数の合計が50日を超える場合は、審議の対象とする。
ウ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	部活動等で優れた実績を有する者については加点する。

(3) 作文〔15点満点〕

3名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。3名の評価者の評価の組合せ（a a a～c c c）ごとに得点化する。評価cが6つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 文章の量・字・構成	適切な文章量で、誤字がない。また、わかりやすい構成になっている。
イ 論旨・主張	論旨・主張が明確である。
ウ 表現力	文章表現が豊かである。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の成績」、「調査書の得点」、「第2日の検査（作文）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、各選抜資料の評価等について慎重に審議しながら、予定人員までを入学許可候補者として内定する。

<総得点の満点の内訳>

学力検査の成績	調査書の得点		第2日の検査の得点	総得点
	評定（算式1）	加点	作文	
500点	$(135 + \alpha - m)$ 点	5点	15点	$(655 + \alpha - m)$ 点

（算式1） α ：県が定める評定合計の標準値95

m ：当該志願者の在籍する中学校の第3学年（義務教育学校にあっては、後期課程の第3学年）の評定の全学年の合計値の平均値

(2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いをしない。

イ 入学許可候補者に内定した者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による内定者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

5 その他

過年度卒業者については、第2日の検査終了後、別途個人面談を行う。

平成30年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 85

千葉県立佐原高等学校 全日制の課程 理数科

1 期待する生徒像

次のア～ウをすべて満たす生徒

- ア 理数系分野への興味・関心が特に強い
- イ 学習成績が優秀である
- ウ 部活動を含めた学校生活全般に意欲的に取り組む

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 作文	字数：600字以内 検査時間：50分

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科(国語・社会・英語は100点満点, 数学・理科は100点満点の得点を1.5倍して, それぞれ150点満点)の合計600点で評価する。

(2) 調査書 アの数値に, ウについて加点(上限5点)したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は, 審議の対象とする。
イ 出欠の記録	第3学年の欠席日数が20日を超える場合, 3年間の欠席日数の合計が50日を超える場合は, 審議の対象とする。
ウ 特別活動の記録, 部活動の記録及び特記事項	部活動等で優れた実績を有する者については加点する。

(3) 作文 [15点満点]

3名の評価者が, 次の3つの評価項目ごとに, 各評価基準に基づき, a(優れている)・b(標準的である)・c(問題がある)の3段階で評価する。3名の評価者の評価の組合せ(a a a ~ c c c)ごとに得点化する。評価cが6つ以上ある場合は, 審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 文章の量・字・構成	適切な文章量で, 誤字がない。また, わかりやすい構成になっている。
イ 論旨・主張	論旨・主張が明確である。
ウ 表現力	文章表現が豊かである。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の成績」, 「調査書の得点」, 「第2日の検査(作文)の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ, 各選抜資料の評価等について慎重に審議しながら, 予定人員までを入学許可候補者として内定する。

<総得点の満点の内訳>

学力検査の成績	調査書の得点		第2日の検査の得点	総得点
	評定(算式1)	加点	作文	
600点	(135 + α - m)点	5点	15点	(755 + α - m)点

(算式1) α : 県が定める評定合計の標準値95

m : 当該志願者の在籍する中学校の第3学年(義務教育学校にあっては, 後期課程の第3学年)の評定の全学年の合計値の平均値

(2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には, 選抜資料に加える。ただし, 提出されたことにより, 不利益な取扱いをしない。

イ 入学許可候補者に内定した者のうち, 隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による内定者数が, 細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

5 その他

過年度卒業者については, 第2日の検査終了後, 別途個人面談を行う。

